

リフォームダクト JD
施工要領書

2023年 11月 22日

因幡電機産業株式会社
技術本部

目次	ページ
1. はじめにお読みください	1
2. 施工要領	2
2-1. サイズ選定	3
2-2. 経路確認と墨出し	3
2-3. パーツベースの取り付け	3
2-4. ダクトベースおよびパイプホルダー(配管保持具)取り付けと配管施工	3
2-5. 貫通部の処理	7
2-6. カバーの取り付け	7
3. 施工のポイント	8
3-1. スペーサー	8
3-2. 平面エルボカバー90°(大曲) JKE	9
3-3. 異径ジョイント JDR	9
3-4. フリーコーナー JF	9
3-5. クロスジョイント JX	10
3-6. 給水栓用エルボカバー	10
3-7. 給水栓用ソケットカバー JSC	12
3-8. 給水栓ボックス JEK	12
3-9. 異径アダプター JDI	13
3-10. ジョイントカバー JSN	14
3-11. シーリングキャップ JSPN	14
3-12. パーツベースの加工	15
3-13. 結露対策	15
4. 適合配管表	16

1. はじめにお読みください

本製品は給水・給湯管を壁面上などに施工する場合に使用する配管化粧カバーです。それ以外の用途には使用しないでください。

※一部パーツは給湯には使用できません。巻末の「**適合配管表**」を確認してください。

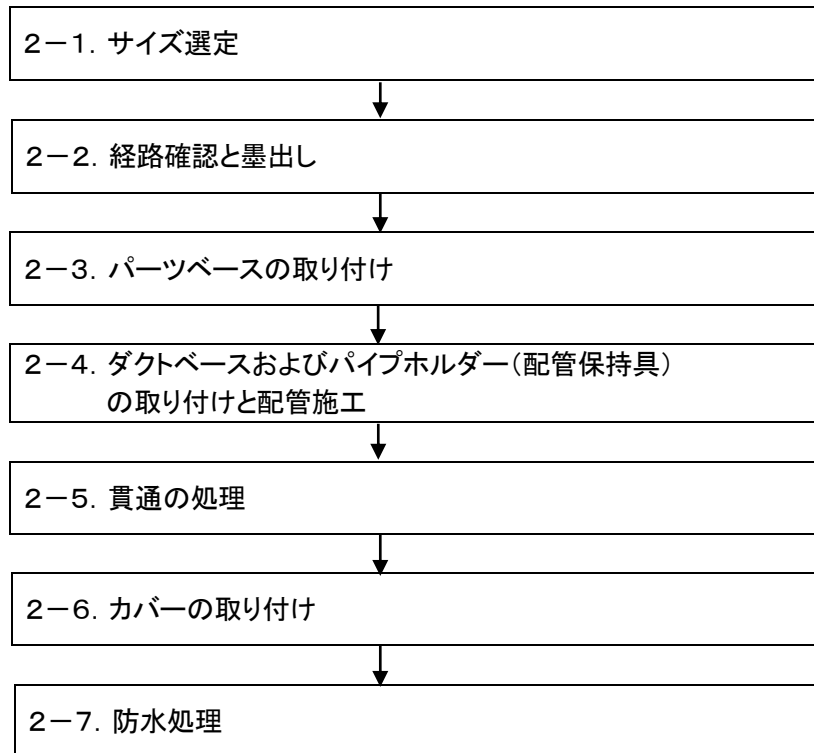
【お願い】

- JD シリーズを給湯に使用の場合は、次の点に注意してください。
 - ・管内温度が高い配管に使用しますと、配管の熱で伸縮することによりダクトに不具合が発生するおそれがあります。管内温度 80℃以下で使用してください。
 - ・樹脂管が熱で伸縮することにより、カバーが外れるおそれがあります。直線配管距離の目安については、「**4. 適合配管表**」内の直線配管距離の項目を参照してください。
 - ・樹脂管が熱で伸縮することにより、きしみ音が発生する場合があります。
 - ・樹脂管が熱で伸縮することにより、カバーが落下するおそれがあるため、天井面には施工しないでください。
 - ・金属製継手は、熱でカバーが変形するおそれがありますので、使用いただけません。
- 壁の素材を確認の上使用してください。石膏ボードなどでは、固定強度が不足することがあるため、壁下地材の木軸などに固定してください。やむなく石膏ボードに固定する場合はボードアンカーを使用してください。
- ウォーターハンマーによる衝撃音が発生する可能性のある場所は、配管に緩衝材(保温材など)を巻いてください。
- 壁面固定用のねじは、ねじ径 4mm のものを使用してください。
- 樹脂管は、巻き癖のない直管を使用してください。コイル管を使用する場合は、巻き癖を緩和しながら施工してください。
- ダクトの施工作业時は防護服、作業用手袋などを着用してください。また、糸のこなどを使用して切断作業する場合は切粉が目に入らないように保護メガネを着用してください。
- 冬場など気温の低い時期は、ダクト切断時にダクトが割れるおそれがありますので、ダクトを温めてから切断してください。
- ダクトは、糸のこで切断してください。切断部については、配管や保温材の傷つきや損傷を防止するため、バリの処理をしてください。
- 本製品は使用環境温度の範囲内で使用してください。高温になる火元周りでの使用には十分注意してください。
- 配管が防火区画を貫通する場合は、別途、建築基準法にて定められた防火区画貫通処理を施してください。なお、貫通部周辺に本製品を取り付ける場合は、所轄の消防署まで確認してください。
- カバー表面の清掃は、カラ拭きまたは中性洗剤をうすめてかるく拭いてください。
- インパクトドライバーを使用すると製品が割れるなど本来の性能を損なう場合がありますので、使用は避けてください。

2. 施工要領

施工手順を以下に示します。

パイプホルダーやパーツの選定、配管直線距離は、「4. 適合配管表」を参照してください。



※必ず「3. 施工のポイント」や付属の取扱説明書も合わせて確認してください。

<取り付けビス>

- ねじ径 4mm のタッピンビスを使用してください。
- 材質は環境に応じて選択してください。(ステンレス製を推奨)

注意) 石膏ボードなどでは固定強度が不足することがあるため、壁下地材の木軸などに固定してください。やむなく石膏ボードへ固定する場合は、ボードアンカーを使用してください。

注意) インパクトドライバーを使用すると製品が割れるなど本来の性能を損なう場合がありますので、使用は避けてください

2-1. サイズ選定

「4. 適合配管表」を参照し、配管の種別やサイズに適したダクトやパーツを選定します。
パイプホルダー(配管保持具)も合わせて確認してください。

例) VP-13 の場合

JD ダクト・・・JD-13/JD-13N

パイプホルダー(配管保持具)・・・JH-13/JRH-13J

2-2. 経路確認と墨出し

配管経路を確認し、墨出ししてください。

給湯で使用する場合は、直線配管距離に制限があります。

「4. 適合配管表」の直線配管距離を確認してください。

2-3. パーツベースの取り付け

パーツのベースをビスで取り付けてください。

(仮止めできるようにパーツ底部の裏面には、両面テープが貼り付けてあります)

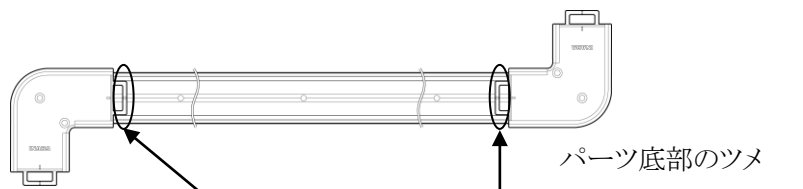
付属の取扱説明書がある場合は、確認してください。

2-4. ダクトベースおよびパイプホルダー(配管保持具)の取り付けと配管施工

(1)パイプホルダー(JH) または、バンド式パイプホルダー(JBH) を使用の場合

①ダクトベースの取り付け

ダクトのベースをたわませながらパーツベースのツメ部分に差し込み仮置きします。



※ダクトを差し込みにくい場合は、パーツベースのツメを切り取ってください。

(「3-10. パーツベースの加工」参照)

パーツベースのツメを切り取った場合は仮置きができません。ダクトベースをビスで壁面に固定してください。

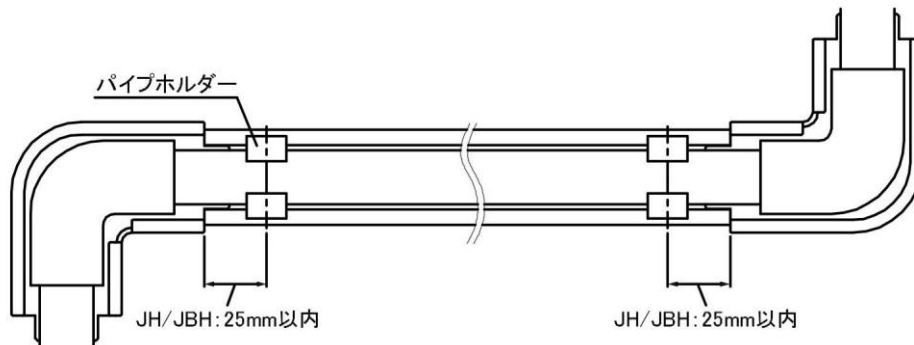
②パイプホルダー(JH)/バンド式パイプホルダー(JBH)の取り付け

パイプホルダーをダクトベースと一緒にビスで壁面に固定します。

※ダクトベースの固定とパイプホルダーの取り付けを同時に行うことで作業の低減が図れます。

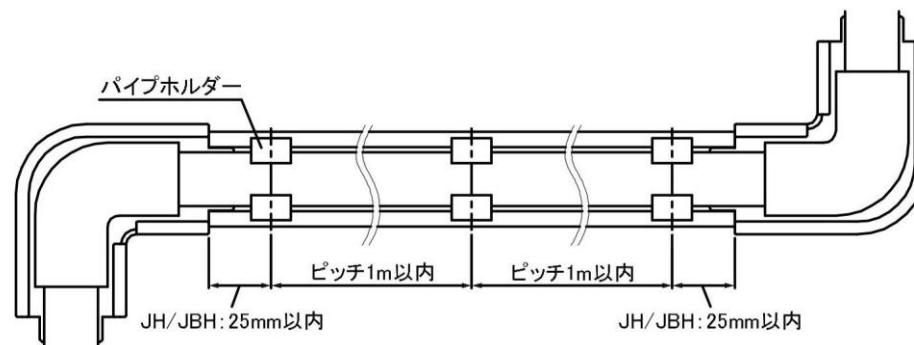
<取り付け条件>

- 1) 直線配管距離の長さが 1m 未満の場合
ダクトの両端から 25mm 以内にそれぞれ 1 箇所(合計 2 箇所)に取り付けてください。



- 2) 直線配管距離の長さが 1m 超の場合
1m 未満のダクトについては、ダクトの両端から 25mm 以内にそれぞれ 1 箇所(合計 2 箇所)に取り付けてください。
1m 以上 2m 以下のダクトについては、ダクトの両端から 25mm 以内に取り付けた上で、取り付けピッチが 1m 未満となるように取り付けてください。

※JKEについては「3-2. 平面エルポカパー-90°(大曲り) JKE」も合わせて確認してください。



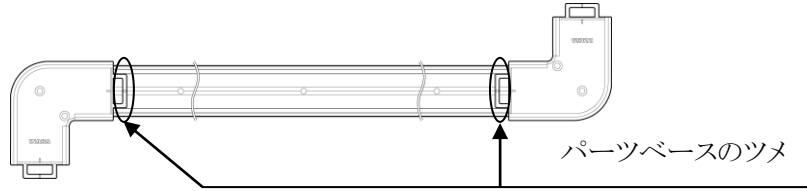
③ 配管施工

パイプホルダーに、配管を嵌め込んでください。

(2)パイプホルダー(JRH)を使用の場合

①ダクトベースの取り付け

ダクトのベースをたわませながらパーツベースのツメ部分に差し込み仮置きし、ビスで壁面に固定してください。



※ダクトを差し込みにくい場合は、パーツベースのツメを切り取ってください。

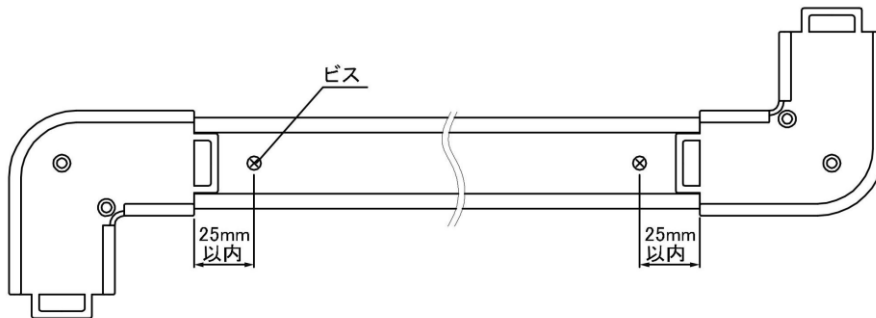
(「3-10. パーツベースの加工」参照)

この場合は仮置きができません。

<ダクトのベース固定条件>

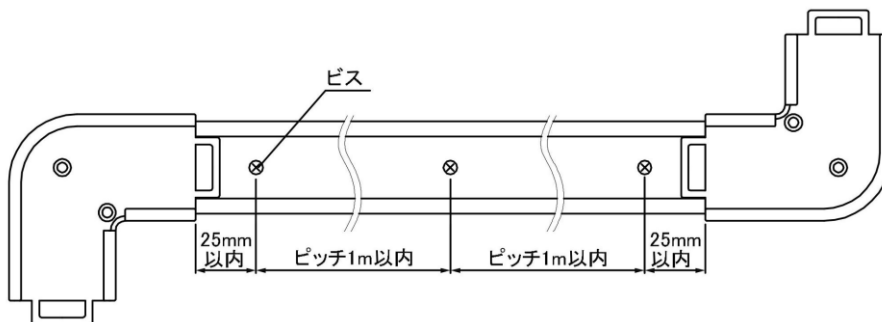
1)ダクトの長さが 1m 未満の場合

ダクト両端から 25mm 以内にそれぞれ 1 箇所(合計 2 箇所)にビス固定してください。

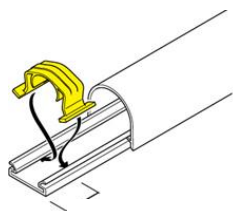


2)ダクトの長さが 1m 超の場合

ダクトの両端から 25mm 以内にそれぞれ 1 箇所と、その内側に取り付けピッチが 1m 以下となるように(合計 3 箇所)ビス固定してください。



- ②配管施工およびパイプホルダー(JRH)の取り付け
配管施工と同時に、パイプホルダーJRHを取り付けます。



JRH-J 50mm 以内
JRH-H/A/C、JKH 30mm 以内

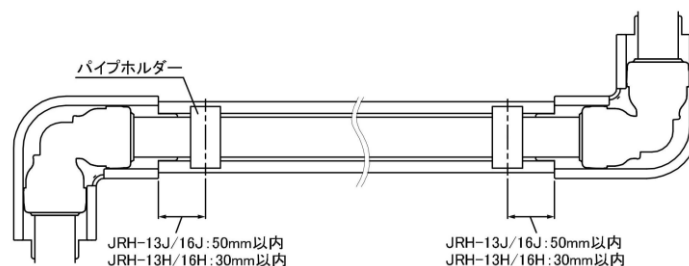
※実際には配管施工と同時に取り付けます。

(図は取り付け箇所を明確にするために、配管を省略しています。)

<取り付け条件>

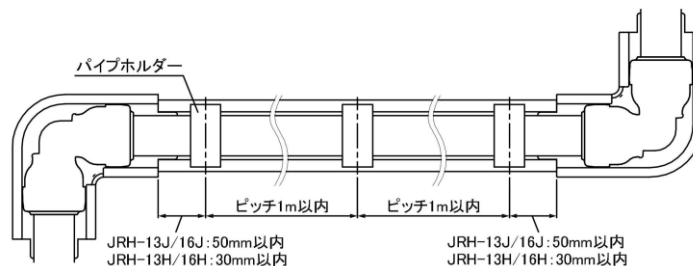
- 1) 直線配管距離の長さが 1m 未満の場合

- JRH-Jを使用の場合:
ダクトの両端から 50mm 以内にそれぞれ 1 箇所(合計 2 箇所)に取り付けてください。
- JRH-Hを使用の場合:
ダクトの両端から 30mm 以内にそれぞれ 1 箇所(合計 2 箇所)に取り付けてください。
- JRH-A/C、JKHを使用の場合:
ダクトの両端から 30mm 以内にそれぞれ 1 箇所(合計 2 箇所)と、その内側に取り付けピッチが 500 mm以下となるように取り付けてください。



- 2) 直線配管距離の長さが 1m 超の場合

- JRH-Jを使用の場合:
配管継手を収納しているコーナーパーツと隣接するダクトの両端から 50mm 以内にそれぞれ 1 箇所(計 2 箇所)と、その内側に取り付けピッチが 1m 以下となるように取り付けてください。
- JRH-Hを使用の場合:
配管継手を収納しているコーナーパーツと隣接するダクトの両端から 30mm 以内にそれぞれ 1 箇所(計 2 箇所)と、その内側に取り付けピッチが 1m 以下となるように取り付けてください。
- JRH-A/C、JKHを使用の場合:
配管継手を収納しているコーナーパーツと隣接するダクトの両端から 30mm 以内にそれぞれ 1 箇所(計 2 箇所)と、その内側に取り付けピッチが 500 mm以下となるように取り付けてください。



<注意>

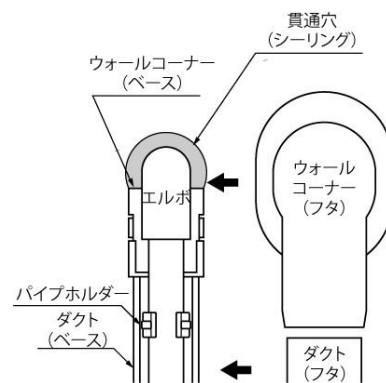
- 配管は、パイプホルダーに確実に嵌め込んでください。
 - コーナーパーツへの配管継手の取り付けは、パイプホルダーで支持された中心線上にくるように配管長さを合わせて取り付けてください。
中心からズレると配管の伸縮により、カバーが外れるおそれがあります。
 - 配管に無理なゆがみなどが掛からないように施工してください。
 - パーツによってはパイプホルダーの取り付け位置が異なる場合があります。
- 「3. 施工のポイント」および製品に添付されている取扱説明書を合わせて確認してください。

2-5. 貫通部の処理

リフォームダクト JD は、防水構造ではありません。必要に応じて貫通穴と配管のすき間は、パテやモルタルなどで埋め戻してください。

※貫通部の埋め戻し部材は、施工に適した部材を使用してください。

<施工例>



2-6. カバーの取り付け

ダクト、パーツの順にカバーを取り付けてください。

2-7. 防水処理

リフォームダクト JD は、防水構造ではありません。必要に応じてパーツやダクトのすき間をコーキング材などで防水処理してください。

3. 施工のポイント

3-1. スペーサー

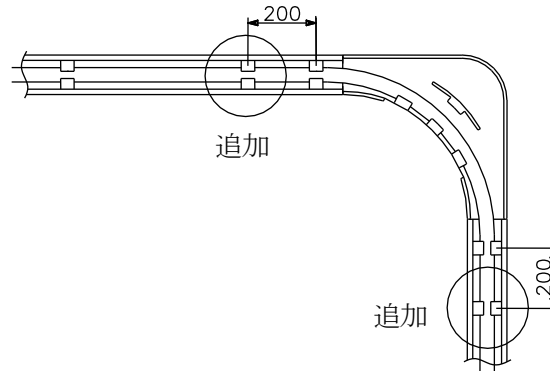
- 凸凹のある面へ施工する場合に、ダクトおよびパーツの高さを調整するために使用します。
また、異径ジョイントや異径のパーツを使用する場合に、小口径側の管の中心を大口径側と揃えるために使用します。
- 屋外での使用が可能です。
- スペーサーがないパーツもあります。スペーサーを使用する場合は事前に確認してください。
- スペーサーを複数枚重ねて使用する場合、使用環境によっては安定性が損なわれる可能性があります。その場合は、基礎部分を設ける(底上げする)ことをお勧めします。
例) 角材で基礎を設けて壁面に合わせて塗装あるいは壁紙などを貼り付けし、その上にリフォームダクトJDを設置するなど。

型番	適用スペーサー		水栓ボックス用 アダプター		屋外 対応
	型番	厚み(mm)	型番	厚み (mm)	
JD-13	JDS-13-05/JDS-13-10	5/10	—	—	×
JD-20	JDS-20-05/JDS-20-10	5/10	—	—	×
JD-13N	JDS-13-05/JDS-13-10	5/10	—	—	○
JD-20N	JDS-20-05/JDS-20-10	5/10	—	—	○
JW-13F	JWS-13	5	—	—	○
JW-20F	JWS-20	5	—	—	○
JK-13F	JKS-13	5	—	—	○
JK-20F	JKS-20	5	—	—	○
JKF-13F	JKFS-13	5	—	—	○
JKF-20F	JKFS-20	5	—	—	○
JCI-13F	JCIS-13	5	—	—	○
JCI-20F	JCIS-20	5	—	—	○
JCO-13F	JCOS-13	5	—	—	○
JCO-20F	JCOS-20	5	—	—	○
JHT-13F	JHTS-13	5	—	—	○
JHT-20F	JHTS-20	5	—	—	○
JHT-20-13F	JHTS-20-13	5	—	—	○
JWT-13	JWTS-13	5	—	—	○
JWT-20	JWTS-20	5	—	—	○
JS-13	JSS-13	5	—	—	○
JS-20	JSS-20	5	—	—	○
JDR-20-13	JDRS-20-13	5	—	—	○
JEC-13/ JEC-20N	JECS-13	5	JET-AN	2	○
JEC-20-20N	JECS-13	5	JET-B	2	○
JEC-25S/ JEC-25	-	-	JET-C	2	×
JES-13/ JES-20	JECS-13	5	—	—	○
JEH-13/ JEH-20	JECS-13	5	JET-AN	2	○
JEH-20-20	JECS-13	5	JET-B	2	○
JTC-13/ JTC-20	JTCS-13	5	JET-AN	2	○
JTH-13	JTCS-13	5	JET-AN	2	○
JSC-13F	JSCS-13	5	—	—	○
JSC-20F/ JSC-20-20F	JSCS-20	5	—	—	○
JMB-13	JMBS-13	5	JET-AN	2	×

3-2. 平面エルボカバー90°（大曲）JKE

樹脂管（ポリブテン管、架橋ポリエチレン管）でエルボ継手を使わずに管自体を曲げて施工を行う場合は平面90°大曲り、JKE-20Jを使用します。

管の反発がある場合は、図のようにピッチ200mm程度でパイプホルダーを追加してください。

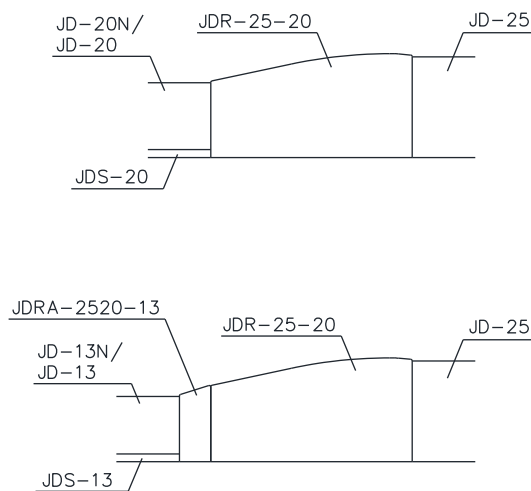


3-3. 異径ジョイント JDR

配管途中で配管径が変わる場合は、異径ジョイントを使用することでダクトサイズを変えることができます。

異径ジョイントを使用する場合、配管の高さを合わせるためダクトの小径側にスペーサーが必要です。

<スペーサー使用例>



* スペーサー (JDS-20/JDS-13)

3-4. フリーコーナー JF

配管施工後の取り付けはできませんのであらかじめ配管に通しておいてから施工してください。

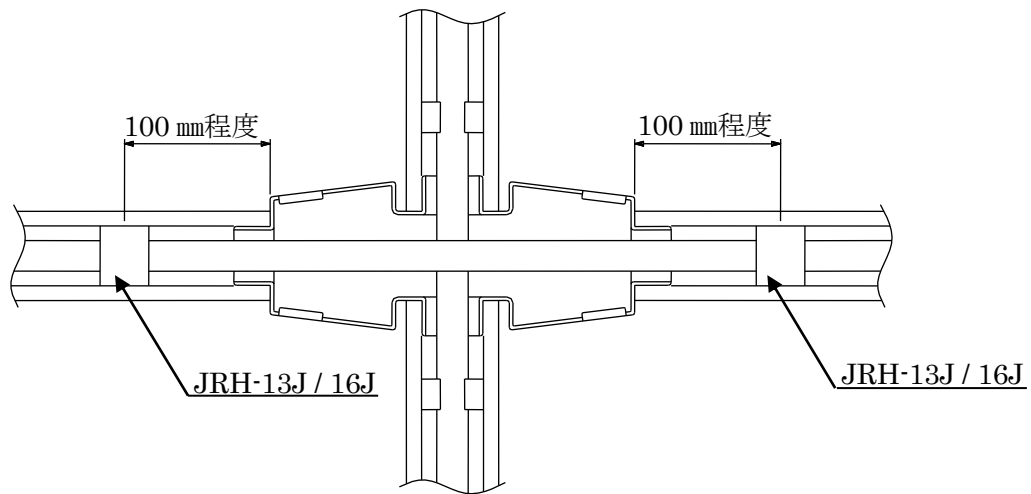
フレキは、長さ調整のために切断して使用することが可能です。

付属の取扱説明書を確認の上施工してください。

3-5. クロスジョイント JX

樹脂管で施工する場合、乗り越え側配管のパイプホルダーは、JD ダクトの端部から 100mm 程度の位置にパイプホルダー (JRH) を使用してください。

また、保温材や保護管などで樹脂管交差部分の管の損傷防止処理を施してください。



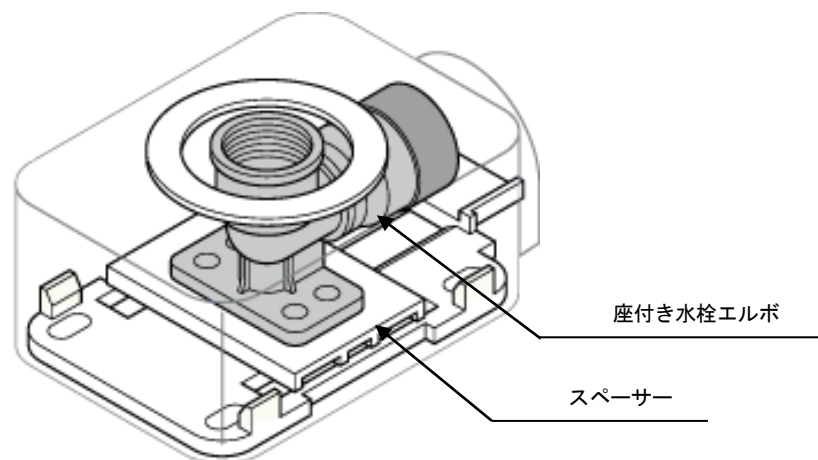
塩ビ管で施工する際は、専用の継手 (JXB) と合わせて使用してください。

3-6. 給水栓用エルボカバー JEC / 給湯用エルボカバー JEH

給水栓用チーズカバー JTC / 給湯用チーズカバー JTH

水栓ボックス用アダプター JET

- 給水栓用エルボカバー JEC、給湯用エルボカバー JEH、給水栓用チーズカバー JTC、給湯用チーズカバー JTH、水栓ボックス用アダプター JET には継手固定用の継手ホルダーが付属しています。
- 座付き継手を使用する場合は、継手ホルダーは使用せずねじで直接固定してください。
- 座付き継手の対応については、適合座付水栓エルボメーカー別対応表を確認してください。
- 継手の高さ寸法が不足する場合は、継ぎ足しソケット (市販品)、JD 用スペーサーおよび水栓ボックス用アダプター JET を使用して調整してください。



【参考図】

適合座付水栓エルボメーカー別対応表

樹脂管メーカー	管サイズ	座付水栓エルボ			適用給水栓用エルボカバー	必要寸法調整部材		
		型番	ネジサイズ	高さ(mm)		継差しソケット寸法(mm)	JD用スペーサー	水栓ボックス用アダプター
株オランダ製作所	10A	WL5-1310-S	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	-
		WL5-1310C-S	1/2	47		-	JDS-13-05	-
	13A	WL5-1313-S	1/2	47	JEC-13	-	-	JET-AN×2
		WLSF5-1313-S	1/2	50		-	-	JET-AN×3
	16A	WL5-1313C-S	1/2	47	JEC-20N	-	-	JET-AN×2
		WL5A-1316-S	1/2	53.5		-	-	JET-AN×1
		WL5C-1316-S	1/2	53.5	-	-	JET-AN×1	
		WL5A-1316C-S	1/2	53.5	-	-	JET-AN×1	
		WL5C-1316C-S	1/2	53.5	JEC-20-20N	-	-	-
		WL5A-2016-S	3/4	53.5		-	-	-
WL5C-2016-S		3/4	53.5	-		-	-	
WL5A-2016C-S		3/4	53.5	-		-	-	
クボタシーアイ株	10A	JOQ2FL-W	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	-
	13A	JOQ2FL-W	1/2	47	JEC-13	-	-	JET-AN×1
	16A	JOQ2FL-B	1/2	53.5	JEC-20N	-	-	JET-AN×1
		JOQ2FL-B	3/4	53.5	JEC-20-20N	-	-	-
シーケー金属株	10A	GEC-RZ10C4	1/2	49.5	JEC-20N	-	-	-
		GEC-RZ10P4	1/2	49.5		-	-	-
	13A	GEC-RZ13C4	1/2	49.5	JEC-13	-	-	JET-AN×2
		GEC-RZ13P4	1/2	49.5		-	-	JET-AN×2
16A	GEC-RZ16C4	1/2	52.5	JEC-20N	-	-	-	
	GEC-PRZ16C4	1/2	52.5		-	-	-	
JFE継手株	10A	JOQ2FL-W	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	-
		ADPN-L-S	1/2	52.25		-	-	-
	13A	JOQ2FL-W	1/2	47	JEC-13	-	-	JET-AN×1
		HF-WL-OB	1/2	54		-	-	JET-AN×5
		ADPN-L-S	1/2	53	-	-	JET-AN×4	
		HF-VLVS-LB	1/2	58	JEC-20N	-	-	JET-AN×3
	16A	JOQ2FL-B	1/2	53.5	JEC-20N	-	-	JET-AN×1
		HF-VLVS-L	1/2	63	JEC-25S	-	-	JET-C
JOQ2FL-B	3/4	53.5	JEC-20-20N	-	-	-		
積水化学工業株	10A	KHWL10Z	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	-
	13A	KHWL13R	1/2	44.2	JES-13	-	-	-
	16A	KHWL16R	1/2	50.3	JES-20	-	-	-
株タブチ	10A	AT10-Z	1/2	58	JEC-20N	-	-	JET-AN×3
		OT10-Z2	1/2	49.5		-	-	-
	13A	AT13-Z	1/2	58	JEC-13	-	-	JET-AN×7
		OT13-ZW	1/2	47		-	-	JET-AN×1
		OT13-ZW3	1/2	49.5	JEC-20N	-	-	-
		OT13-Z2	1/2	49.5		-	-	-
	16A	OT16-13ZW	1/2	52	JEC-20N	-	-	-
		OT16(PN15)-13ZW	1/2	52		-	-	-
		AT16(PN15)-Z	3/4	53	JEC-20-20N	-	-	-
		AT16(W)-Z	3/4	53		-	-	-
OT16(PN15)-ZW		3/4	52	-		-	-	
OT16-ZW		3/4	52	-		-	-	
古河電気工業株	13A	RE-13F	1/2	47	JEC-13	-	-	JET-AN×1
前澤給装工業株	10A	713833-10-1/2	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	-
		718013-13-1/2	1/2	47		-	-	JET-AN×1
	13A	713833-13-1/2	1/2	47	JEC-13	-	-	JET-AN×1
		713749-16-1/2	1/2	49		JEC-25S	15	-
		713633-16-1/2	1/2	49	15		-	JET-C×2
		713749-16-3/4	3/4	52	15		-	JET-C×4
713633-16-3/4	3/4	52	15	-	JET-C×4			
三井化学産資株	10A	JZEM10R1	1/2	51	JEC-20N	-	-	-
	13A	JZEM13R1	1/2	52	JEC-13	-	-	JET-AN×4
	16A	JMZM-16R1	1/2	58	JEC-20N	-	-	JET-AN×3
三菱樹脂株	10A	MSZ-10	1/2	48	JEC-20N	-	JDS-13-05	JET-AN×1
		MSZ-13	1/2	48	JEC-13	-	-	JET-AN×2
	13A	MZE-15-13Z	1/2	50	JEC-20N	-	-	-
株KVK	10A	GDZL-10P1	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	JET-AN×2
	13A	GDZL-13P1	1/2	47	JEC-13	-	-	JET-AN×2
	16A	GDZL-16P1	1/2	47	JEC-20N	-	JDS-13-05	JET-AN×2

※株ブリヂストン製座付水栓エルボの対応については、同社カタログを確認してください。

※JDS-13-05はJDS-20-05で代用可能です。

※JD用スペーサーは必要な長さに切断して使用してください。

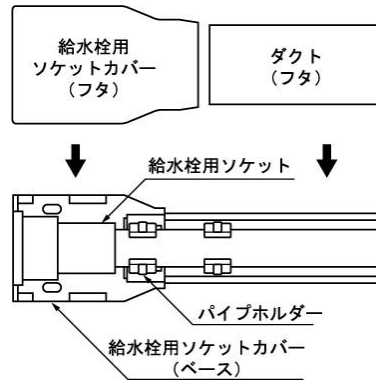
※JD用スペーサー、水栓ボックス用アダプターは屋外での使用が可能です。

※水栓ボックス用アダプターの記載枚数は、座付き水洗エルボの水栓取り付け口のの高さに合う枚数です。

3-7. 給水栓用ソケットカバー JSC

給水栓用ソケットカバー JSC にはパイプホルダー JH (VP 管用)が付属しています。
JH は配管が樹脂管の場合は使用しませんので、取り外して使用してください。

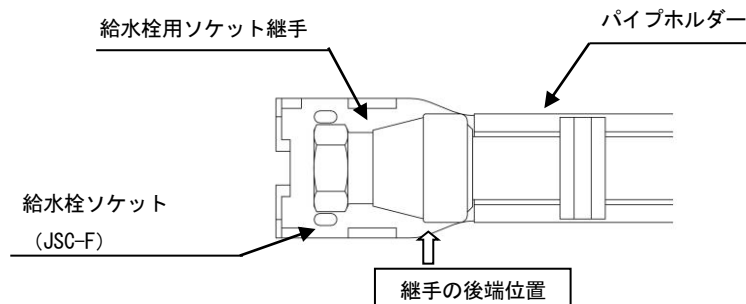
<施工例(VP 管)>



樹脂管の場合は、配管の伸縮を考慮して、給水栓用ソケット継手の後端が、給水栓用ソケットカバー JSC の後端にくるように配管してください。

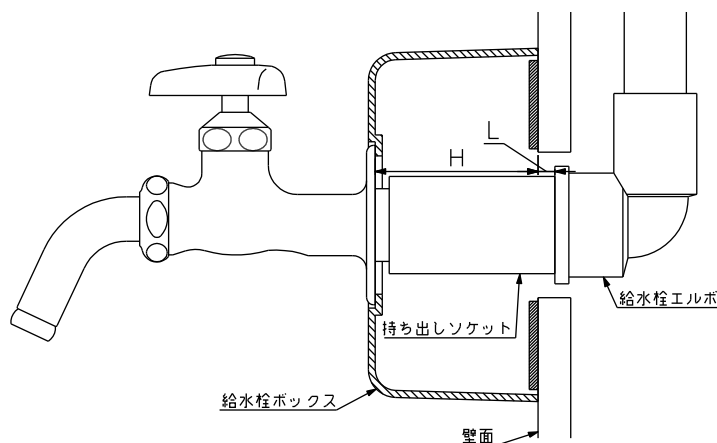
※先端側(出口側)はすき間が生じます。

<施工例(樹脂管)>



3-8. 給水栓ボックス JEK

- ・壁面から給水栓ボックスまでの高さ H と給水栓エルボ位置 L に合わせて持ち出しソケット (別売) を選定してください。
- ・持ち出しソケットが飛び出る場合は、水栓ボックス用アダプターJET-AN (厚さ 2mm) を使用して高さを調整してください。

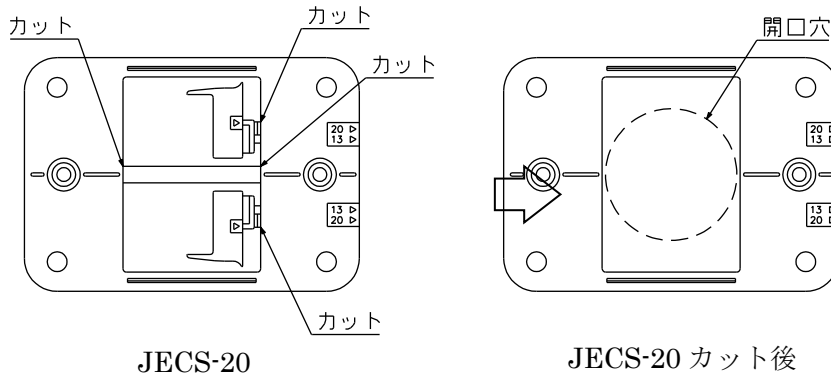


型番	H
JEK-13	47
JEK-20	54

<スペーサー施工について>

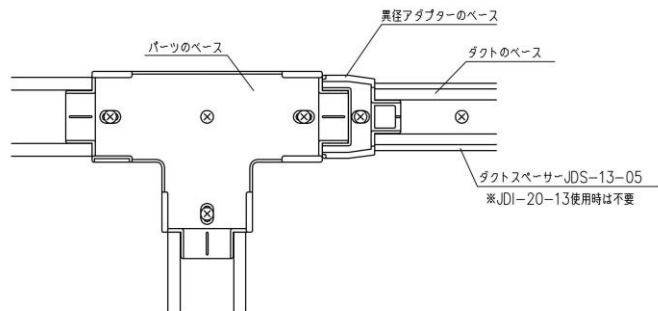
- JEK-13、20 をスペーサーでかさ上げ施工する場合は、JECS-13 を使用してください。
- JECS-13 と開口穴で干渉する部分（下図）は、ニッパーなどで切断して施工してください。

型番	適合スペーサー
JEK-13	JECS-13
JEK-20	

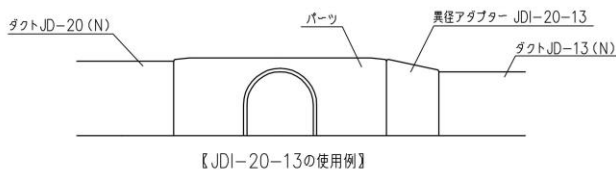
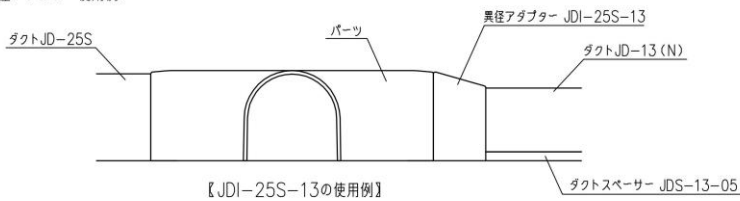


3-9. 異径アダプター JDI

施工は、パーツのベース、異径アダプターのベース、ダクトのベースの順番にベースを取り付け、ダクトのカバー、異径アダプターのカバー、パーツのカバーの順番にカバーを取り付けてください。



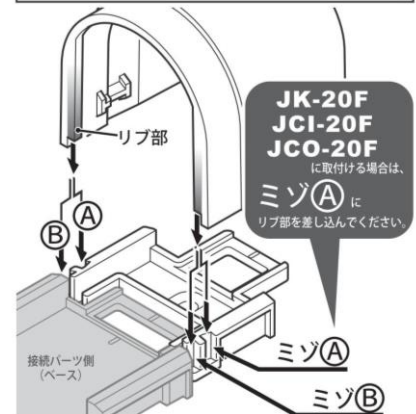
<異径アダプター使用例>



施工上のご注意

接続するパーツにより、カバーのリブ部の差し込み位置が異なりますのでご注意ください。

- JK-20F、JCI-20F、JCO-20F に取付ける場合・・・ミゾ(A)
- 上記以外のパーツに取付ける場合・・・ミゾ(B)

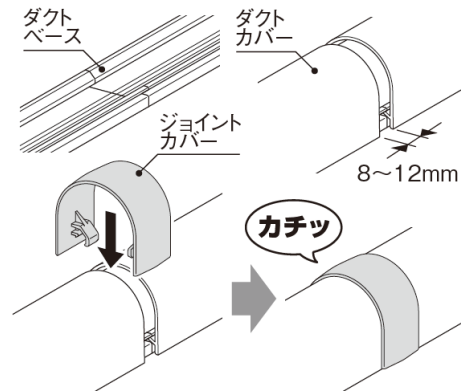


異径アダプター	対応パーツ
JDI-20-13	JK-20F、JCI-20F、JCO-20F、JHT-20F、JHT-20-13F
JDI-25S-13	JK-25SJ、JCI-25S、JCO-25SJ、JHT-25S、JS-25S

3-10. ジョイントカバー JSN

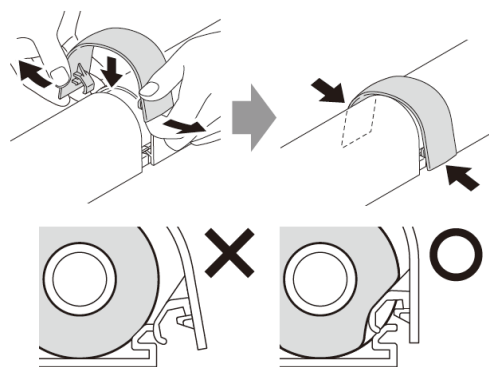
- ① ダクトベースを突き合わせて設置し、ダクトカバーの片方のみ 8~12mm 短くなるようにカットしてください。
- ② ジョイントカバーをダクトベースへ「カチッ」と鳴るまで上から押して取り付けてください。

〈注意〉取り付け位置にパイプホルダーがある場合は、パイプホルダーをずらして施工してください。



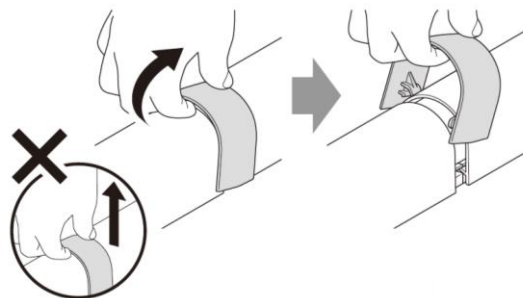
保温材付きの配管へ取り付け
る場合は、ジョイントカバー
を少し広げて両側を押し付け
ながらダクトベースへ取り付
けてください。

- ④ ダクトベースに引っ掛かった
状態で押し付けると爪が変形
する恐れがあるため、ジョイ
ントカバーを少し持ち上げて
保温材に押し付けながら取り
付けてください。



- ③ ジョイントカバーを取り外す場合、ジョイントカバーの片側の頂点部に指をかけて、回転方向に引き上げることで簡単に外れます。

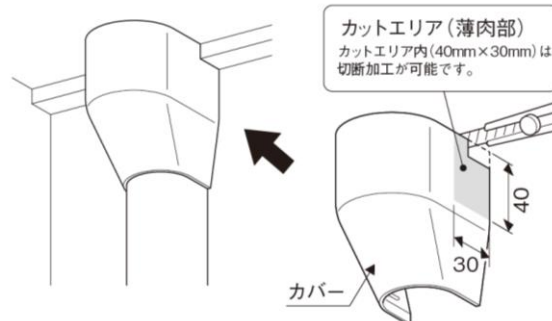
〈注意〉ジョイントカバーはまっすぐ引き上げても簡単に外れません。無理に外そうとすると破損するおそれがあります。



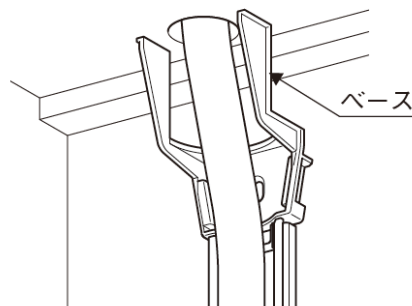
3-11. シーリングキャップ JSPN

取り付け場所に段差などがある場合カバーのカットエリア(薄肉部)をカッターナイフなどでカットして施工してください

〈注意〉切断の際は、カッターナイフなどでケガをしないようにしてください。



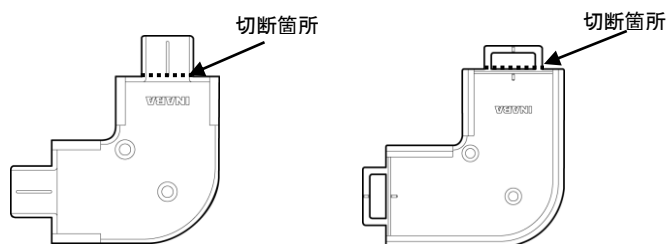
〈注意〉段差部に取り付ける際は、配管およびカバーに負荷がかからないようにしてください。



3-12. パーツベースの加工

ダクトベース仮置きの際パーツベースのツメ部分を切断する必要がある場合は、糸のこなどで切断してください。

パーツベースのツメ部分の形状は2種類あります。



3-13. 結露対策

収納配管の結露防止対策が必要な場合は、配管に保温材を巻くなどの処理を行ってください。

4. 適合配管表

リフォームダクト JD シリーズの適合配管表を下表に示します。

適合配管表①

■ 配管×ダクト・ホルダー・パーツ早見表

※ 屋外使用可能

配管種別	(H) VPP管										HTVP管			難燃ポリブレン ポリブレン E20やE2V		難燃ポリブレン ポリブレン E20やE2V		難燃ポリブレン ポリブレン E20やE2V		ステンレス フレキ管											
	10mm										10mm			5mm		10mm		-													
適合配管 する パーツ	13	16	20	25	30	13	16	20	13	16	20	10	13	16	13	16	13	13	10	13	16	20	13	15	20	25					
リフォームダクト(屋内外用) 【標準配管距離：m以内】	JD-N	13N	20N	20N	-	-	-	-	-	-	-	13N	20N	20N	20N	13N	20N	13N	20N	20N	13N	20N	20N	-	-	-	-	-			
リフォームダクト(屋内用) 【標準配管距離：m以内】	JD	13	20	20	25S	25	25	25S	25	25	25	13	20	20	20	13	20	20	20	13	20	20	20	25S	13	13	20	25S	25		
パイプホルダー	JH	13	16	20	25S	-	-	-	-	-	-	13	16	20	10J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
パイプホルダー (リフト式)	JBH	13	20	20	25S	25	25	25S	25	25	25	13	20	20	-	-	-	-	-	25S	-	-	-	20	25S	13	13	20	25S	25	
パイプホルダー (保管用)	JRH-J	13J	16J	-	-	-	-	-	-	-	-	13J	16J	-	-	13J	16J	16J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
パイプホルダー (保管用)	JRH-A	13A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13A	-	-	-	13A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
パイプホルダー (保護材付き用)	JRH-H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13H	16H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
パイプホルダー (コルゲート被覆付き用)	JRH-C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
金剛製パイプホルダー	JKH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平面エルボカバー-90°	JK	13F	20F	20F	25SJ	25	25	25SJ	25	25	25	13F	20F	20F	20F	13F	20F	13F	20F	20F	13F	20F	20F	25SJ	13F	13F	20F	25SJ	25		
平面エルボカバー-90° (大曲)	JKE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20J	-	-		
平面エルボカバー-45°	JKF	13F	20F	20F	-	-	-	-	-	-	-	13F	20F	20F	-	13F	20F	13F	20F	20F	-	-	-	-	-	-	13F	13F	20F	-	-
立置インコーナー-90°	JCI	13F	20F	20F	25S	25	25	25S	25	25	25	13F	20F	20F	20F	13F	20F	13F	20F	20F	13F	20F	20F	25S	13F	13F	20F	25S	25		
立置アクトコーナー-90°	JCO	13F	20F	20F	25SJ	25	25	25SJ	25	25	25	13F	20F	20F	20F	13F	20F	13F	20F	20F	13F	20F	20F	25SJ	13F	13F	20F	25SJ	25		
立置スライドコーナー	JCS	13	20	20	-	-	-	-	-	-	-	13	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	13	20	-	-
自在エルボ	JFE	13	20	20	-	-	-	-	-	-	-	13	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	13	20	-	-
フリーコーナー	JF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20F	13F	20F	13F	20F	-	13F	-	-	-	-	-	13F	13F	20F	-	-
平面チーズカバー	JHT	13F	20F	20F	25S	25	25	25S	25	25	25	13F	20F	20F	20F	13F	20F	13F	20F	20F	13F	20F	20F	25S	13F	13F	20F	25S	25	25	25-20
壁貫通チーズカバー	JWT	13	20	20	25S	20	25	25S	25	25	25	13	20	20	20	13	20	13	20	20	13	20	20	25S	13	13	20	25S	25		
ウォールコーナー	JW	13F	20F	20F	25S	25	25	25S	25	25	25	13F	20F	20F	20F	13F	20F	13F	20F	20F	13F	20F	20F	25S	13F	13F	20F	25S	25		
ウォールコーナー (ツリ付なし)	JWN	13	20	20	-	-	-	-	-	-	-	13	20	20	20	13	20	13	20	20	13	20	20	-	13	13	20	-	-	-	-
ウォールコーナー (大型タイプ)	JWNL	-	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20	20	20	-	20	-	20	20	-	20	20	20	-	-	-	20	-	-	-

※1: JDシリーズを給湯に使用する場合は、次の点に注意してください。

- 管内温度90℃以下で使用してください。
- 樹脂管が熱で軟化するにより、カバーが外れるおそれがあります。
- 直線配管距離は、当社耐熱給湯試験結果に基づいた目安です。使用環境によっては配管の直線距離を満たせない場合があります。
- 樹脂管が熱で軟化することにより、おしめ書が発生する場合があります。
- 樹脂管が熱で軟化するにより、カバーが落下するおそれがあるため、天井面には施工しないでください。
- 詳細は技術資料(仕様書・施工要領書)を確認してください。

※2: 屋内のみで使用できます。

- ※3: エスロベックスCVを使用する場合は、JH-13Jを使用してください。
- ※4: 対応ダクトは、JD-20Nになります。パーツも20サイズを使用してください。
- ※5: 45°継手を使用し、直線配管距離2m以内にてください。
- ※: 詳細は技術資料(仕様書・施工要領書)を確認してください。

適合配管表②

■ 配管×ダクト・ホルダー・パーツ早見表

●...屋外使用可能

配管種別	(H)VP管									HTVP管			難燃ポリエチレン 前付型 エポキシ樹脂			難燃ポリエチレン 前付型 エポキシ樹脂			金属強化 ポリエチレン管 (スーパーエスロ メタックスなど)				ステンレス フレキ管							
	10mm									5mm			10mm			-				-										
適合配管 & パーツ	13	16	20	25	30	13	16	20	13	16	20	10	13	16	13	16	13	13	10	13	16	20	13	15	20	25				
リフォームダクト(屋内外用)	JD-N	13N	20N	20N	-	-	-	-	13N	20N	20N	20N	13N	20N	20N	13N	20N	20N	13N	20N	20N	20N	-	13N	13N	20N	-			
リフォームダクト(屋内用)	JD	13	20	20	25S	25	25S	25	13	20	20	20	13	20	20	-	-	25S	-	20	20	20	25S	13	13	20	25S			
ジョイントカバー	JS	13	20	20	25S	25	25	25S	25	25	13	20	20	20	13	20	13	20	20	25S	13	20	20	20	25S	13	13	20	25S	25
ジョイントカバー(ベースレス)	JSN	13	20	20	-	-	-	-	-	-	13	20	20	20	13	20	13	20	20	13	20	20	20	-	13	13	20	-	-	
異径ジョイント	JDR	-	20-13	20-13	25S-20	25-20	25-20	-	-	-	20-13	20-13	-	-	20-13	-	20-13	25S-20	-	-	-	-	-	-	-	20-13	25S-20	25-20		
異径ジョイントアダプター	JDR	-	-	-	25S-13	25S-13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25S-13	
異径アダプター	JDI	-	20-13	20-13	25S-13	-	-	-	-	-	20-13	20-13	-	-	20-13	-	20-13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20-13	25S-13	-	
クロスジョイント	JX	1320	-	1320	-	-	-	-	-	-	-	-	1320	1320	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1320	1320	1320	-	-		
クロスオーバー継手	JXB	13	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
シーリングキャップ	JP	13	20	20	25S	25	25	25S	25	25	13	20	20	20	13	20	13	20	20	25S	13	20	20	20	25S	13	13	20	25S	25
シーリングキャップ(埋込センター位置50mm用)	JSP	13	20	20	-	-	-	-	-	-	13	20	20	20	13	20	13	20	20	13	20	20	-	13	13	20	-	-		
シーリングキャップ《NEW》	JSPN	13	20	20	-	-	-	-	-	-	13	20	20	20	13	20	13	20	20	13	20	20	-	13	13	20	-	-		
給水栓用エルボカバー	JEC	13	20N	20N	25S	25	-	-	-	-	-	-	20N	13	20N	13	20N	20N	20N	25S	13	-	-	-	-	13	13	20N	25S	25
給水栓用エルボカバー(壁面付給水栓用)	JES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	20	13	20	20	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
給水栓用エルボカバー	JEH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	20	20-20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	20	20-20	-	-
給水栓用テースカバー	JTC	13	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	20	13	20	20	13	20	-	-	-	-	13	13	20	-	-	
給水栓用テースカバー	JTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	13	-	-	-
継手ホルダー用 アタッチメント	JEA	A	A	A	-	-	-	-	-	-	A	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
給水栓用ソケットカバー	JSC	13F	20F	20F	-	-	-	-	-	-	-	-	20F	13	20F	13	20F	20F	20F	13	-	-	-	-	-	13F	13F	20F	-	-
混合栓用ボックスカバー	JMB	13	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	13	-	-	-
給水栓ボックス	JEK	13	20	20	-	-	-	-	-	-	13	20	20	20	13	20	13	20	20	-	-	-	-	-	-	13	13	-	-	-

※1: JDシリーズを給湯に使用する場合は、次の点に注意してください。
 ・管内温度80℃以下で使用してください。
 ・樹脂管が熱で伸縮することにより、カバーが外れるおそれがあります。
 ・直線配管距離は、当社耐熱給湯試験結果に基づいた目安です。使用環境によっては記載の直線配管距離を満たさない場合があります。
 ・樹脂管が熱で伸縮することにより、さし込みがゆるくなる場合があります。
 ・樹脂管が熱で伸縮することにより、カバーが落下するおそれがあるため、天井面には施工しないでください。
 ・詳細は技術資料(仕様書・施工要領書)を確認してください。

※2: 屋内のみで使用できます。
 ※3: JD-20は使用できません。
 ※4: 給湯にも使用できます。
 ※5: JSC-13Fの直線配管距離は1.5m以下、JSC-20FおよびJSC-20Fは2.0m以下。
 ※6: これらの数値は当社耐熱給湯試験結果に基づいた目安です。使用環境によっては記載の直線配管距離を満たさない場合があります。
 ※7: 詳細は技術資料(仕様書・施工要領書)を確認してください。

以上